

2022年 1月  
あさかぜ保育園子育て支援だより



2022年 明けましておめでとうございます！！

皆さま、楽しく年末年始をご家庭で過ごされましたでしょうか？  
ご自宅でゆっくり過ごされた方。おじいちゃん・おばあちゃんの家へ行かれ楽しく賑やかに年末年始を過ごされた方と様々だったと思います。

特に今年は、今までコロナの為なかなか帰省できなかった方も遠方まで帰ることができたのではないのでしょうか。（ちなみに、ばあばは家で静かに穏やかなお正月を過ごしました。）

この状況が良い方向に繋がり、みんなに笑顔と活気がみなぎる年になるとよいですね！

保育園の子どもたちは少し長いお休みでしたが、園で毎日元気よく過ごしていますよ。寒くても、戸外で走り回っている子どもたち。元気です！  
見ている私は、ますます寒さに体を震わせ小さくなっています。（見た目は大きいのですが 笑）

戸外でしっかり遊んだあとは、室内で製作や劇あそび・楽器あそび・リズム遊び等を楽しんでいます。 そのような中、子どもから発した言葉から保育士が劇あそびのシナリオを作って楽しむ姿は楽しいですよ。「えっ！この劇あそびにこんな登場人物いたっけ？」と思いますが・・・子どもたちは自分達から発した言葉がセリフになり、登場人物として出てきますから楽しんで遊んでいるようです。

保育士と子どもたちの言葉のやり取りで遊びが発展し楽しむことができるのは、子どもたちとの間に信頼関係（愛着関係）が出来てきたのではないのでしょうか。

始めは、保育士の言葉も耳に入らなかった子どもたち。勝手に部屋を飛び出したり、自分の気が向いた時に一緒に遊びに入る。これは、どうなるのだろうと見ていました。しかし、よく見ていると少しずつ少しずつ、クラスとして楽しんで動けるようになってきたかな～。子どもたちは何かあれば、あそこに行けば絶対に保護してもらえるはずという見通しが持てるようになってきたのでは・・・。

この信頼関係（愛着関係）は極度の恐れや不安の状態にある時に、無条件に、かつ一貫して特定の大人から確実に護ってもらえるという経験の蓄積を通して人を信じる力の形成に通じると言われています。

これは、子どもが育つ過程の中でハイハイや歩行が出来るようになりますよ

ね。1人でアチコチを探索しはじめます。(我が子のその頃を思い出してください)しかし時として子どもは不安になり、後を振り返り母親(父親)と一緒に遊んでいた大人の姿を探します。

困った顔・不安そうに泣きながら母親(父親)もしくは、一緒に遊んでいた大人を見つけた時の子どもの安堵した顔。まさに、その時なんです。見守っていた大人が、ニコッと笑顔で子どもと目を合わせ応え、体を抱きしめ

「だいじょうぶ、ちゃんとここにいるよ」と穏やかな声で言ってみてください。すると安心感に子どもは浸ることができるんです。子どもにとっても親にとっても、ごく当たり前のこの繰り返しが人に対する高度な信頼の感覚を獲得することになるそうです。

つい忙しいと声だけで「ここ、ここ」ってことはないですか?(私、子育て中にやっていたのでは・・・と反省しています。)

子どもも始めは泣いて訴えています、泣いても呼んでも来てくれないと分かるとあきらめて泣かないで黙々と遊び始めます。怖いですね～。この蓄積をすると子どもは、人を信頼することや自分自身の肯定感も少なくなっていくます。近年では、心の理解能力や思いやりの発達にも関係すると言われています。

私よく書きますが、決して今からでも遅くないと思います。子どもとしっかり向き合って話しましょう。体と体を触れ合い、共感しましょう。日常的な営みで自然とはぐくまれるんですよ。

新しい年を迎え、新たな気持ちで子育てをしてみませんか!!

今年こそは良い年になるように、コロナに負けることなくウイズコロナで保育園も行動を起こしたいと思っています。

しかし、1月に入ったとたんオミクロン株との闘いがはじまりました。保護者の皆様、子どもたちの笑顔が見られるように引き続き、御理解と御協力をお願いしますとともに、なにとぞ今年もよろしく願いいたします。

今月は、ここまで・・・。

子育てが終わった ばあ~ばより

